

FUND TRANSFER APPLICATION RECEIVING DEVICE AND FUND TRANSFER MANAGING METHOD USING THIS

Publication Number: 2001-283007 (JP 2001283007 A) , October 12, 2001

Inventors:

- MATSUE KATSUYUKI
- IWAI HITOSHI
- WABE HIROSHI

Applicants

- TOPPAN FORMS CO LTD

Application Number: 2000-091271 (JP 200091271) , March 29, 2000

International Class:

- G06F-017/60
- B42D-011/00
- G07D-009/00
- H04N-001/00

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve security and to reduce the occurrence of an artificial mistake caused by manual work. **SOLUTION:** When a fund transfer application is taken into a fund transfer application receiving device installed in a credit company, a reading part 10 for the fund transfer application receiving device reads information written in the fund transfer application. A digital processing part 21 makes it into digital data and a code giving part 22 gives the codes of a financial facility and a branch office to it. An image preparing part 23 prepares image data on information read by the part 10. The image data prepared by the part 23 are printed out by a printer 50 to be sent to the financial facility. **COPYRIGHT:** (C)2001,JPO

JAPIO

© 2005 Japan Patent Information Organization. All rights reserved.

Dialog® File Number 347 Accession Number 7055372

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコ-ト* (参考)
G 0 6 F 17/60	2 3 4 2 2 6	G 0 6 F 17/60	2 3 4 S 3 E 0 4 0 2 2 6 5 B 0 5 5
B 4 2 D 11/00		B 4 2 D 11/00	P 5 C 0 6 2
G 0 7 D 9/00	4 3 6	G 0 7 D 9/00	4 3 6 B
H 0 4 N 1/00		H 0 4 N 1/00	Z
審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-91271(P2000-91271)

(22) 出願日 平成12年3月29日 (2000. 3. 29)

(71) 出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72) 発明者 松江 勝行

東京都府中市若松町3-1-38

(72) 発明者 岩井 仁

千葉県佐倉市白井田2337-6

(72) 発明者 和部 宏

東京都八王子市緑町214-10

(74) 代理人 100088328

弁理士 金田 暢之 (外2名)

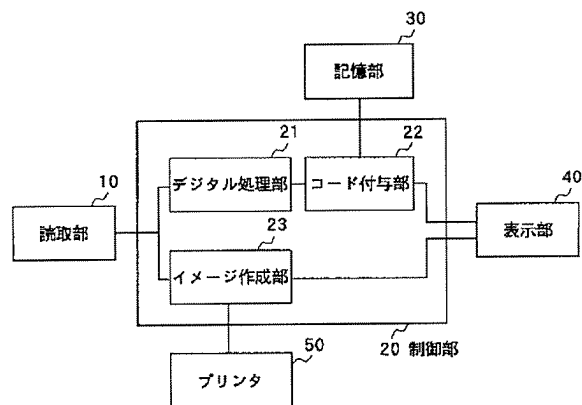
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 口座振替依頼書受付機及びこれを用いた口座振替管理方法

(57) 【要約】

【課題】 セキュリティを向上させることができるとともに手作業による人為的ミスの発生を低減する。

【解決手段】 クレジット会社に設置される口座振替依頼書受付機に口座振替依頼書を取り込むと、口座振替依頼書受付機の読取部10にて口座振替依頼書に記入された情報を読み取り、デジタル処理部21にてデジタルデータ化し、コード付与部22にて金融機関及び支店のコードを付与する。また、イメージ作成部23において、読取部10にて読み取られた情報のイメージデータを作成する。イメージ作成部23にて作成されたイメージデータをプリンタ50にてプリントアウトし、金融機関に対して送付する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 クレジット業務を行うクレジット会社に設置され、所定の金融機関の口座における口座振替を依頼するための情報が記入された口座振替依頼書を処理する口座振替依頼書受付機であって、
前記口座振替依頼書に記入された情報を読み取る読取手段と、
前記読取手段にて読み取られた情報をデジタルデータに変換して出力するデジタル処理手段と、
前記デジタル処理手段から出力されたデジタルデータに、当該デジタルデータに含まれる金融機関のコードを付与するコード付与手段と、
前記読取手段にて読み取られた情報のイメージデータを作成するイメージ作成手段と、
前記コード付与手段にてコードが付与されたデジタルデータと前記イメージ作成手段にて作成されたイメージデータを表示する表示手段と、
前記イメージ作成手段にて作成されたイメージデータを印字する印字手段とを有することを特徴とする口座振替依頼書受付機。

【請求項2】 クレジット業務を行うクレジット会社に設置され、所定の金融機関の口座における口座振替を依頼するための情報が記入された口座振替依頼書を処理する口座振替依頼書受付機であって、
前記口座振替依頼書に記入された情報を読み取る読取手段と、
前記読取手段にて読み取られた情報をデジタルデータに変換して出力するデジタル処理手段と、
前記デジタル処理手段から出力されたデジタルデータに、当該デジタルデータに含まれる金融機関のコードを付与するコード付与手段と、
前記読取手段にて読み取られた情報のイメージデータを作成するイメージ作成手段と、
前記コード付与手段にてコードが付与されたデジタルデータと前記イメージ作成手段にて作成されたイメージデータとを前記金融機関に対して公衆網を介して送信する送信手段とを有することを特徴とする口座振替依頼書受付機。

【請求項3】 請求項1に記載の口座振替依頼書受付機を用いた口座振替管理方法であって、
前記口座振替依頼書に記入された情報を読み取る第1のステップと、
前記第1のステップにて読み取られた情報をデジタルデータに変換する第2のステップと、
前記第2のステップにて変換されたデジタルデータに、当該デジタルデータに含まれる金融機関のコードを付与する第3のステップと、

前記第1のステップにて読み取られた情報のイメージデータを作成する第4のステップと、
前記第3のステップにてコードが付与されたデジタルデータと前記第4のステップにて作成されたイメージデータとを前記表示手段に表示する第5のステップと、
前記表示手段に表示されたデジタルデータに付与されたコードとイメージデータとを比較する第6のステップと、
前記第6のステップにおいて前記デジタルデータに付与されたコードが前記イメージデータに含まれる金融機関のコードであった場合に、前記イメージデータを印字する第7のステップと、
前記第7のステップにて印字されたイメージデータを前記金融機関に送付する第8のステップと、
前記金融機関に送付されたイメージデータの内容を確認する第9のステップと、
前記金融機関に送付されたイメージデータに基づいて口座振替を行う第10のステップとを有することを特徴とする口座振替管理方法。

【請求項4】 請求項2に記載の口座振替依頼書受付機を用いた口座振替管理方法であって、
前記口座振替依頼書に記入された情報を読み取る第1のステップと、
前記第1のステップにて読み取られた情報をデジタルデータに変換する第2のステップと、
前記第2のステップにて変換されたデジタルデータに、当該デジタルデータに含まれる金融機関のコードを付与する第3のステップと、
前記第1のステップにて読み取られた情報のイメージデータを作成する第4のステップと、
前記第3のステップにてコードが付与されたデジタルデータと前記第4のステップにて作成されたイメージデータとを前記表示手段に表示する第5のステップと、
前記表示手段に表示されたデジタルデータに付与されたコードとイメージデータとを比較する第6のステップと、
前記第6のステップにおいて前記デジタルデータに付与されたコードが前記イメージデータに含まれる金融機関のコードであった場合に、前記デジタルデータと前記イメージデータとを前記公衆網を介して前記金融機関に送信する第7のステップと、
前記金融機関に送信されたデジタルデータ及びイメージデータの内容を確認する第8のステップと、
前記金融機関に送信されたデジタルデータ及びイメージデータに基づいて口座振替を行う第9のステップとを有することを特徴とする口座振替管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、クレジット等の契約の際に記入される口座振替依頼書を処理する口座振替

依頼書受付機及びこれを用いた口座振替管理方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、クレジット契約を行う場合、契約者がクレジットの申込用紙及び口座振替依頼書に所定の事項を記入し、所定の事項が記入された申込用紙と口座振替依頼書がクレジット会社に送付される。

【0003】クレジット会社においては、送付されてきた申込用紙と口座振替依頼書について所定の処理を行う。申込用紙と口座振替依頼書に必要事項が記入されているか否かが確認され、申込用紙及び口座振替依頼書に記入された事項がホストコンピュータに入力されて管理される。

【0004】クレジット会社に送付された口座振替依頼書（以下、原票と称する）は、クレジット会社にて上述した処理が行われた後、実際に引き落としが行われる金融機関に送付される。

【0005】金融機関においては、クレジット会社から送付されてきた原票を保管するとともに、原票に記入された事項をホストコンピュータに入力し、口座情報を管理する。

【0006】図7は、口座振替依頼書の一構成例を示す図である。

【0007】図7に示すように口座振替依頼書には、契約者が記入するエリア120a、120bと、クレジット会社にて印字するエリア110とが存在し、エリア120a、120bに記入された事項はホストコンピュータに入力する必要がある。

【0008】クレジット会社においては、エリア120a、120bに記入された事項をホストコンピュータに入力する手間を省くために、エリア120a、120bに記入された事項をホストコンピュータにて読取可能な形態にする業務を外部業者に委託する場合がある。

【0009】図8は、従来の口座振替管理方法においてクレジット会社が口座振替依頼書に記入された事項の一部の入力を外部業者に委託した場合における処理の流れの一例を説明するための図である。

【0010】契約者が原票に必要事項を記入し、該原票をクレジット会社に送付すると（ステップS101）、クレジット会社において、原票に必要事項が記入されているか、また押印されているか等の検査を目視によって行うとともに、原票に記入された金融機関名及び支店名を示すコードデータの原票への印字を手作業により行う（ステップS102）。

【0011】金融機関コード及び支店コードが印字された原票は外部業者に送付され（ステップS103）、外部業者において、原票に記入された事項を手作業でコンピュータ等に入力し、それにより、原票に記入された事項をクレジット会社内のホストコンピュータにて読取可能なデジタルデータとする（ステップS104）。

【0012】デジタル化されたデータと原票はクレジット会社に送付される（ステップS105）。なお、デジタル化されたデータのクレジット会社への送付においては、データが記録媒体に記録されて原票とともに送付される場合や、原票とは別に公衆網を介して送付される場合等がある。

【0013】クレジット会社に原票とデジタル化されたデータが送られてくると、クレジット会社において、データと原票との照合を行う（ステップS106）。

【0014】データの内容と原票に記入された事項とが一致していることを確認した後、外部業者から送られてきたデータをホストコンピュータにて読み込み、それにより、原票に記入された情報をホストコンピュータに登録する（ステップS107）。

【0015】その後、原票を、原票に記入されている金融機関及び支店別に仕分けして、金融機関に送付する（ステップS108）。

【0016】原票が金融機関に送られてくると、金融機関においては、まず、原票の記載に不備がないかどうかの検査を目視によって行う（ステップS109）。

【0017】記載に不備がないことが確認された原票は金融機関に保管され、また、金融機関において、原票に記入された事項を手作業でホストコンピュータあるいはその端末に入力し、管理する（ステップS110）。

【0018】その後、その金融機関の口座を用いて口座振替が行われる（ステップS111）。

【0019】なお、ステップS109において記載に不備があると認められた原票はクレジット会社に返送され、クレジット会社から契約者に新しい口座振替依頼書が送付される。また、ステップS102において、原票に必要事項が記入されていない、または、押印されていないことが検出された場合も同様に、契約者に新しい口座振替依頼書が送付される。

【0020】

【発明が解決しようとする課題】上述したような口座振替管理方法においては、以下に記載するような問題点がある。

【0021】（1）契約者が必要事項を記入した口座振替依頼書がクレジット会社と金融機関との間、場合によってはさらに外部業者との間でやりとりされるため、個人情報外部に漏れてしまう虞れがある。また、口座振替依頼書が紛失したり損傷を受けたりする虞れがある。

【0022】（2）口座振替依頼書に対する金融機関コード及び支店コードの印字が手作業で行われているため、人為的ミスが生じ易い。また、口座振替依頼書に記入された事項が手作業によってコンピュータに入力されているため、上記同様の問題点が生じる。また、口座振替依頼書に記入されている金融機関コード及び支店コードに基づいて手作業で口座振替依頼書が仕分けされるため、上記同様の問題点が生じる。

【0023】（3）口座振替依頼書に記入された事項をホストコンピュータにて読取可能な形態のデジタルデータにする業務を外部業者に依頼した場合は、クレジット会社においてデータ入力の手続き状況を把握することが難しい。

【0024】本発明は、上述したような従来の技術が有する問題点を鑑みてなされたものであって、セキュリティを向上させることができるとともに手作業による人為的ミスの発生を低減することができる口座振替依頼書受付機及びこれを用いた口座振替管理方法を提供することを目的とする。

【0025】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明は、クレジット業務を行うクレジット会社に設置され、所定の金融機関の口座における口座振替を依頼するための情報が記入された口座振替依頼書処理する口座振替依頼書受付機であって、前記口座振替依頼書に記入された情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られた情報をデジタルデータに変換して出力するデジタル処理手段と、前記デジタル処理手段から出力されたデジタルデータに、当該デジタルデータに含まれる金融機関のコードを付与するコード付与手段と、前記読取手段にて読み取られた情報のイメージデータを作成するイメージ作成手段と、前記コード付与手段にてコードが付与されたデジタルデータと前記イメージ作成手段にて作成されたイメージデータを表示する表示手段と、前記イメージ作成手段にて作成されたイメージデータを印字する印字手段とを有することを特徴とする。

【0026】また、クレジット業務を行うクレジット会社に設置され、所定の金融機関の口座における口座振替を依頼するための情報が記入された口座振替依頼書処理する口座振替依頼書受付機であって、前記口座振替依頼書に記入された情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られた情報をデジタルデータに変換して出力するデジタル処理手段と、前記デジタル処理手段から出力されたデジタルデータに、当該デジタルデータに含まれる金融機関のコードを付与するコード付与手段と、前記読取手段にて読み取られた情報のイメージデータを作成するイメージ作成手段と、前記コード付与手段にてコードが付与されたデジタルデータと前記イメージ作成手段にて作成されたイメージデータとを前記金融機関に対して公衆網を介して送信する送信手段とを有することを特徴とする。

【0027】また、前記口座振替依頼書受付機を用いた口座振替管理方法であって、前記口座振替依頼書に記入された情報を読み取る第1のステップと、前記第1のステップにて読み取られた情報をデジタルデータに変換する第2のステップと、前記第2のステップにて変換され

たデジタルデータに、当該デジタルデータに含まれる金融機関のコードを付与する第3のステップと、前記第1のステップにて読み取られた情報のイメージデータを作成する第4のステップと、前記第3のステップにてコードが付与されたデジタルデータと前記第4のステップにて作成されたイメージデータとを前記表示手段に表示する第5のステップと、前記表示手段に表示されたデジタルデータに付与されたコードとイメージデータとを比較する第6のステップと、前記第6のステップにおいて前記デジタルデータに付与されたコードが前記イメージデータに含まれる金融機関のコードであった場合に、前記イメージデータを印字する第7のステップと、前記第7のステップにて印字されたイメージデータを前記金融機関に送付する第8のステップと、前記金融機関に送付されたイメージデータの内容を確認する第9のステップと、前記金融機関に送付されたイメージデータに基づいて口座振替を行う第10のステップとを有することを特徴とする。

【0028】また、前記口座振替依頼書受付機を用いた口座振替管理方法であって、前記口座振替依頼書に記入された情報を読み取る第1のステップと、前記第1のステップにて読み取られた情報をデジタルデータに変換する第2のステップと、前記第2のステップにて変換されたデジタルデータに、当該デジタルデータに含まれる金融機関のコードを付与する第3のステップと、前記第1のステップにて読み取られた情報のイメージデータを作成する第4のステップと、前記第3のステップにてコードが付与されたデジタルデータと前記第4のステップにて作成されたイメージデータとを前記表示手段に表示する第5のステップと、前記表示手段に表示されたデジタルデータに付与されたコードとイメージデータとを比較する第6のステップと、前記第6のステップにおいて前記デジタルデータに付与されたコードが前記イメージデータに含まれる金融機関のコードであった場合に、前記デジタルデータと前記イメージデータとを前記公衆網を介して前記金融機関に送信する第7のステップと、前記金融機関に送信されたデジタルデータ及びイメージデータの内容を確認する第8のステップと、前記金融機関に送信されたデジタルデータ及びイメージデータに基づいて口座振替を行う第9のステップとを有することを特徴とする。

【0029】（作用）上記のように構成された本発明においては、クレジット会社に設置された口座振替依頼書受付機において、口座振替依頼書に記入された情報が読み取られ、読み取られた情報がデジタルデータに変換されるとともに、イメージ化される。デジタルデータには、該デジタルデータに含まれる金融機関名及び支店名を示すコードが付与される。イメージデータは印字出力され、金融機関に送付される。

【0030】このように、口座振替依頼書に記入された

情報が自動的にデジタルデータに変換され、また、デジタルデータに含まれる情報に基づいて金融機関及び支店のコードが自動的にデジタルデータに付与されるので、手作業による人為的ミスの発生が低減するとともに、処理時間が短縮される。また、口座振替依頼書そのものではなく、口座振替依頼書のイメージデータが金融機関に送付されるので、口座振替依頼書が紛失したり損傷を受けたりすることはない。

【0031】また、クレジット会社にてデータの入力から金融機関へのデータの送付までを一貫して行うので、クレジット会社にて業務の進行状況を把握しやすい。

【0032】また、デジタルデータ及びイメージデータが金融機関に公衆網を介して送信される場合は、セキュリティが向上するとともに、クレジット会社における口座振替依頼書の金融機関への発送業務が簡素化され、また、データの即日発送が可能となる。また、金融機関においては、クレジット会社から送られてきたデータをホストコンピュータに入力する作業を省くことができる。

【0033】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0034】（第1の実施の形態）図1は、本発明の口座振替依頼書受付機の第1の実施の形態を示すブロック図である。

【0035】本形態は図1に示すように、口座振替依頼書に記入された情報を読み取る読取部10と、読取部10にて読み取られた情報をデジタルデータ化するとともにイメージデータを作成する制御部20と、金融機関コード及び支店コードが格納された記憶部30と、制御部20にてデジタル化されたデータ及び作成されたイメージデータを表示する表示部40と、制御部20にて作成されたイメージデータをプリントアウトする印字手段であるプリンタ50とから構成されている。また、制御部20は、読取部10にて読み取られた情報をデジタルデータ化するデジタル処理部21と、デジタル処理部21にてデジタル化されたデータの金融機関名及び支店名に基づいて、記憶部30に格納された金融機関コード及び支店コードを当該デジタルデータに付与するコード付与部22と、読取部10にて読み取られた情報のイメージデータを作成するイメージ作成部23とから構成されている。

【0036】図2は、図1に示した口座振替依頼書受付機を用いた口座振替管理システムの一構成例を示す図である。

【0037】本形態における口座振替管理システムは図2に示すように、図1に示した口座振替依頼受付機が設置され、クレジット契約者1が必要事項を記入した口座振替依頼書を受け取り、該口座振替依頼書をデジタルデータ化及びイメージ化するクレジット会社2と、クレジット会社2にてイメージ化された口座振替依頼書をイメ

ージデータとして受け取り、当該口座振替依頼書に記入された口座から実際に引き落としを行う金融機関3とから構成されており、金融機関3は、イメージ化された口座振替依頼書が印字されたものを発送明細とともにクレジット会社2から受け取る。

【0038】以下に、上記のように構成された口座振替管理システムにおける口座振替管理方法について説明する。

【0039】図3は、図1及び図2に示した口座振替管理システムにおける口座振替管理方法を説明するための図である。

【0040】契約者1が原票に必要事項を記入し、該原票をクレジット会社2に送付すると（ステップS1）、クレジット会社2において、原票に必要事項が記入されているか、また押印されているか等の検査を目視によって行う（ステップS2）。

【0041】次に、クレジット会社2に設置された口座振替依頼書受付機に原票を取り込み、口座振替依頼書受付機の読取部10において原票に記入された情報を読み取る。

【0042】次に、口座振替依頼書受付機のデジタルデータ処理部21において、読取部10にて読み取られた情報をデジタルデータ化し（ステップS3）、コード付与部22において、デジタルデータ化された金融機関名及び支店名を示すコードデータを該デジタルデータに付与する（ステップS4）。なお、金融機関名及び支店名を示すコードデータにおいては、金融機関名及び支店名に対応して記憶部30に予め格納されており、コード付与部22は、デジタルデータ化された金融機関名及び支店名に対応するコードデータを記憶部30から抽出してデジタル処理部21から出力されたデジタルデータに付与する。

【0043】また、口座振替依頼書受付機のイメージ作成部23において、読取部10にて読み取られた情報のイメージデータを作成する（ステップS5）。

【0044】コード付与部22にてコードが付与されたデジタルデータとイメージ作成部23にて作成されたイメージデータは、口座振替依頼書受付機の表示部40に表示され、デジタルデータに付与されたコードとイメージデータとが比較される（ステップS6）。

【0045】ステップS6における比較の結果、デジタルデータに付与されたコードがイメージデータに含まれる金融機関及び支店のコードであった場合、コード付与部22にてコードが付与されたデジタルデータがクレジット会社2内のホストコンピュータ（不図示）に登録される（ステップS7）。

【0046】また、イメージ作成部23にて作成されたイメージデータをプリンタ50にて金融機関及び支店別に仕分けしながら印字し（ステップS8）、発送明細とともに金融機関3に送付する（ステップS9）。なお、

原票はクレジット会社2に保管される。

【0047】イメージが金融機関3に送られてくると、金融機関3においては、まず、イメージとして印字された内容に不備がないかどうかの検査を目視によって行う（ステップS10）。

【0048】内容に不備がないことが確認されたイメージは金融機関3にて管理される。

【0049】また、金融機関3において、イメージとして印字された情報を金融機関3内のホストコンピュータ（不図示）に入力し（ステップS11）、その後、その金融機関3の口座を用いて口座振替が行われる（ステップS12）。

【0050】なお、ステップS10において内容に不備があると認められたイメージはクレジット会社2に返送され、クレジット会社2から契約者1に新しい口座振替依頼書が送付される。また、ステップS2において、原票に必要事項が記入されていない、または、押印されていないことが検出された場合も同様に、契約者1に新しい口座振替依頼書が送付される。

【0051】また、ステップS10における審査結果は、クレジット会社2から金融機関3に送付された発送明細に記入され、クレジット会社2に返送される。

【0052】（第2の実施の形態）図4は、本発明の口座振替依頼書受付機の第2の実施の形態を示すブロック図である。

【0053】本形態は図4に示すように、口座振替依頼書に記入された情報を読み取る読取部10と、読取部10にて読み取られた情報をデジタルデータ化するとともにイメージデータを作成する制御部20と、金融機関コード及び支店コードが格納された記憶部30と、制御部20にてデジタル化されたデータ及び作成されたイメージデータを表示する表示部40と、制御部20にてデジタル化されたデータ及び作成されたイメージデータを公衆網70を介して金融機関に送信する送信部60とから構成されている。また、制御部20は、読取部10にて読み取られた情報をデジタルデータ化するデジタル処理部21と、デジタル処理部21にてデジタル化されたデータの金融機関名及び支店名に基づいて、記憶部30に格納された金融機関コード及び支店コードを当該デジタルデータに付与するコード付与部22と、読取部10にて読み取られた情報のイメージデータを作成するイメージ作成部23とから構成されている。

【0054】図5は、図4に示した口座振替依頼書受付機を用いた口座振替管理システムの一構成例を示す図である。

【0055】本形態における口座振替管理システムは図5に示すように、図2に示したものに対して、クレジット会社2にてデジタル化されたデータと作成されたイメージデータとが公衆網70を介して通信で金融機関3に送信される点のみが異なるものであり、その他の構成は

図2に示したものと同様である。

【0056】以下に、上記のように構成された口座振替管理システムにおける口座振替管理方法について説明する。

【0057】図6は、図4及び図5に示した口座振替管理システムにおける口座振替管理方法を説明するための図である。

【0058】契約者1が原票に必要事項を記入し、該原票をクレジット会社2に送付すると（ステップS21）、クレジット会社2において、原票に必要事項が記入されているか、また押印されているか等の検査を目視によって行う（ステップS22）。

【0059】次に、クレジット会社2に設置された口座振替依頼書受付機に原票を取り込み、口座振替依頼書受付機の読取部10において原票に記入された情報を読み取る。

【0060】次に、口座振替依頼書受付機のデジタルデータ処理部21において、原票に記入された情報をデジタルデータ化し（ステップS23）、コード付与部22において、デジタルデータ化された金融機関名及び支店名を示すコードデータを該デジタルデータに付与する（ステップS24）。

【0061】また、口座振替依頼書受付機のイメージ作成部23において、読取部10にて読み取られた情報のイメージデータを作成する（ステップS25）。

【0062】コード付与部22にてコードが付与されたデジタルデータとイメージ作成部23にて作成されたイメージデータは、口座振替依頼書受付機の表示部40に表示され、デジタルデータに付与されたコードとイメージデータとが比較される（ステップS26）。

【0063】ステップS26における比較の結果、デジタルデータに付与されたコードがイメージデータに含まれる金融機関及び支店のコードであった場合、コード付与部22にてコードが付与されたデジタルデータがクレジット会社2内のホストコンピュータ（不図示）に登録される（ステップS27）。

【0064】また、送信部60において、コード付与部22にてコードが付与されたデジタルデータとイメージ作成部23にて作成されたイメージデータとを公衆網70を介して金融機関3に対して送信する（ステップS28）。なお、発送明細書は、コード付与部22にてコードが付与されたデジタルデータとイメージ作成部23にて作成されたイメージデータとは別に通信以外の手段で金融機関3に送付される。

【0065】クレジット会社2から送信されたデジタルデータとイメージデータとが金融機関3にて受信されると、受信されたデジタルデータが金融機関3内のホストコンピュータ（不図示）に入力されるとともに、金融機関3において、イメージデータの内容に不備がないかどうかの検査を目視によって行う（ステップS29）。

【0066】内容に不備がないことが確認されたイメージデータは金融機関3にて管理され、また、ホストコンピュータに入力されたデジタルデータに基づいて口座振替が行われる（ステップS30）。

【0067】なお、ステップS29における審査結果は、クレジット会社2から金融機関3に送付された発送明細に記入され、クレジット会社2に返送される。イメージデータの内容に不備があると認められた場合は、クレジット会社2から契約者1に新しい口座振替依頼書が送付される。また、ステップS22において、原票に必要事項が記入されていない、または、押印されていないことが検出された場合も同様に、契約者1に新しい口座振替依頼書が送付される。

【0068】本形態においては、第1の実施の形態で説明したものに対して、デジタル化されたデータがイメージデータとともに通信によりデータ配信されているため、セキュリティが向上するとともに、金融機関にてデータ入力を手作業で行う必要がない。

【0069】

【発明の効果】以上説明したように本発明においては、口座振替依頼書に記入された情報が口座振替依頼書受付機にて自動的にデジタルデータに変換され、また、デジタルデータに含まれる情報に基づいて金融機関及び支店のコードが自動的にデジタルデータに付与されるため、手作業による人為的ミスの発生を低減させることができるとともに、処理時間を短縮することができる。

【0070】また、口座振替依頼書そのものではなく、口座振替依頼書のイメージデータを金融機関に送付するため、口座振替依頼書が紛失したり損傷を受けたりすることを防ぐことができる。

【0071】また、データの入力から金融機関へのデータの送付までを一貫してクレジット会社にて行うため、クレジット会社にて業務の進行状況を把握しやすい。

【0072】また、デジタルデータ及びイメージデータを金融機関に公衆網を介して送信するものにおいては、セキュリティを向上させることができるとともに、クレ

ジット会社における口座振替依頼書の金融機関への送送業務を簡素化することができ、また、データの即日送送が可能となる。また、金融機関においては、クレジット会社から送られてきたデータをホストコンピュータに入力する作業を省くことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の口座振替依頼書受付機の第1の実施の形態を示すブロック図である。

【図2】図1に示した口座振替依頼書受付機を用いた口座振替管理システムの一構成例を示す図である。

【図3】図1及び図2に示した口座振替管理システムにおける口座振替管理方法を説明するための図である。

【図4】本発明の口座振替依頼書受付機の第2の実施の形態を示すブロック図である。

【図5】図4に示した口座振替依頼書受付機を用いた口座振替管理システムの一構成例を示す図である。

【図6】図4及び図5に示した口座振替管理システムにおける口座振替管理方法を説明するための図である。

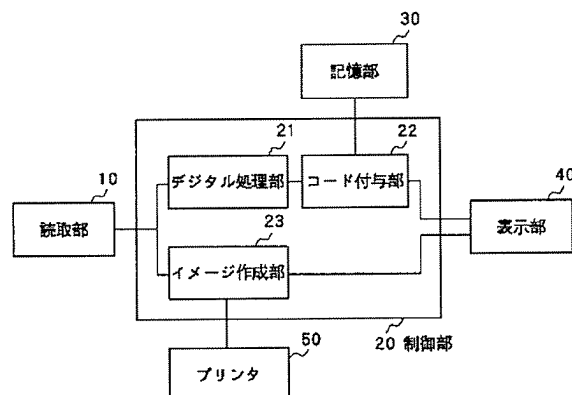
【図7】口座振替依頼書の一構成例を示す図である。

【図8】従来の口座振替管理方法における処理の流れの一例を説明するための図である。

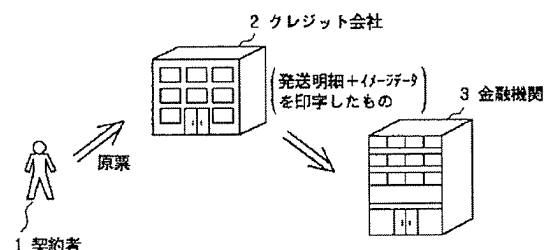
【符号の説明】

- | | |
|----|---------|
| 1 | 契約者 |
| 2 | クレジット会社 |
| 3 | 金融機関 |
| 10 | 読取部 |
| 20 | 制御部 |
| 21 | デジタル処理部 |
| 22 | コード付与部 |
| 23 | イメージ作成部 |
| 30 | 記憶部 |
| 40 | 表示部 |
| 50 | プリンタ |
| 60 | 送信部 |
| 70 | 公衆網 |

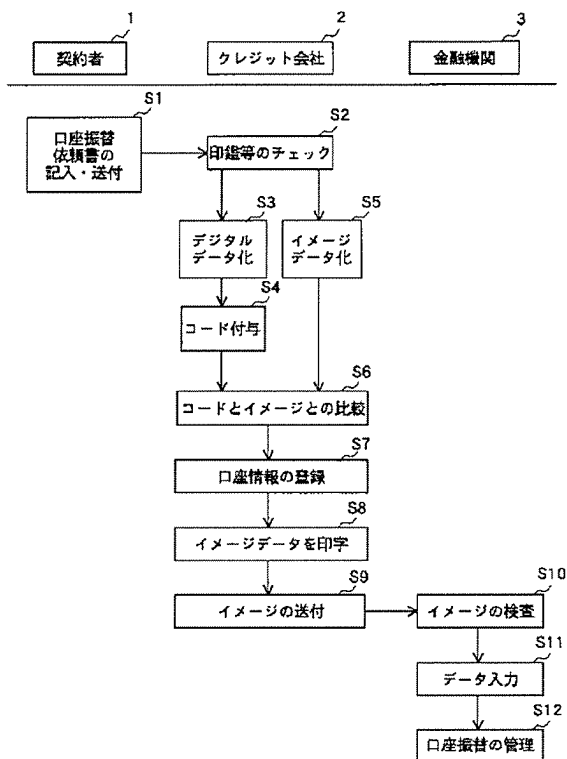
【図1】



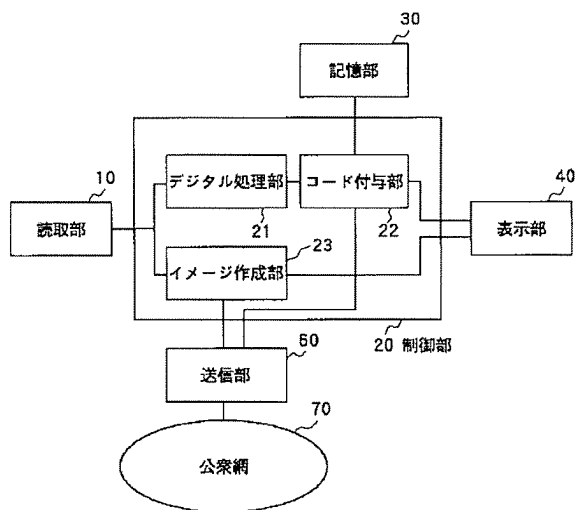
【図2】



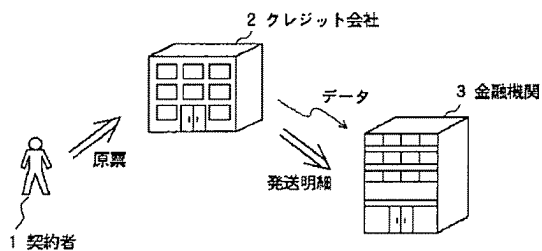
【図 3】



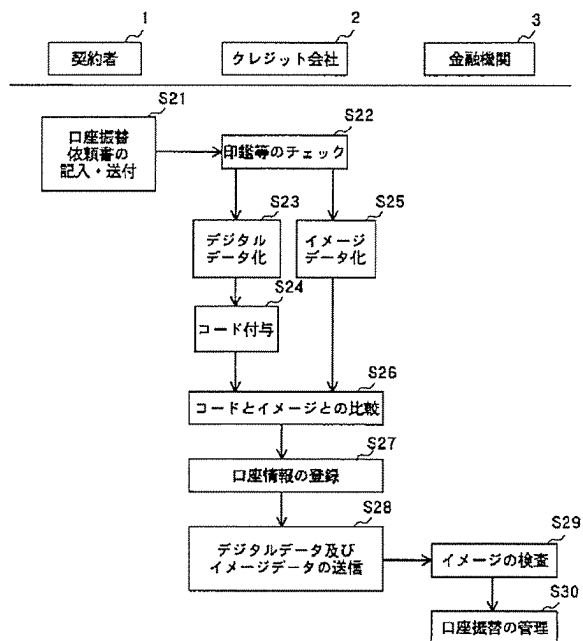
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

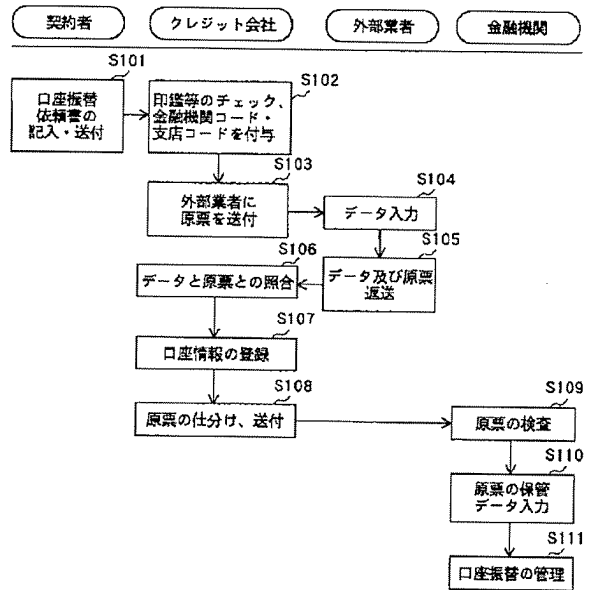
口座振替依頼書			
金融機関	名称		
	支店名		
	種目	口座番号	
金融機関コード		支店コード	
口座名義人	イ		
	ロ		
	漢字	届出印	

120a

110

120b

【図 8】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3E040 AA06 BA16 EA01 FH05
 5B055 BB19 CB05 CB09
 5C062 AA05 AA30 AC02 AC04 AC24
 AC30 AC34